

告示の用語を見直すための作業チームの設置について（案）

背景

告示に使用されている用語については、平成18年の公布当初から見直されていない。
※ 日本リハビリテーション医学会、日本義肢装具学会、JIS等で、それぞれの用語は定義されている。

（見直しが必要な例）

大腿もも締め→大腿コルセット、筋金→支柱、果義足→サイム義足、スピッツイ→削除、
「大腿部及び下腿部は、木製内部の水分を一定に保つための配慮を必要とすること」
→削除



告示の用語の見直しを行うため、国立障害者リハビリテーションセンター学院の義肢装具士に協力を依頼の上、作業チームを設置し、要修正箇所の抽出、及び改正作業を進めたいが、よろしいか。